

2021年度医療放射線技術研究会

～医療放射線技術分野における研究が製品となるまで： 様々なハードルとポイント～

医療放射線技術研究会では、放射線物理の医療応用について情報交換することを目的とし、最新の医療放射線技術の紹介をはじめ、新技術の発展に伴い生じた医療現場のニーズとそれを解決する放射線検出器の研究シーズに関する多くの研究会を企画して参りました。今では、最新の医療放射線技術や放射線検出器の動向を知る場として認知されるようになり、診療放射線技師や医学物理士をはじめとする医療従事者から計測技術の医療応用を目指している研究者まで多くの方々にご参加を頂いております。一方で、放射線計測に関わる研究成果を、実際に医療に応用できるようになるまでの道のりは容易ではなく、その過程や課題については、医療従事者も研究者もその理解が十分ではありません。そこで、今回は、医療分野の研究成果を実用化へ導く事業紹介をはじめ、実際に研究成果を実用化まで導いたご経験のある先生方から、技術概要と実用化までの道のりについて、ご講演を頂きます。

臨床現場に携わる医師・診療放射線技師・医学物理士から計測技術の医療応用を目指している研究者まで広くご参加をお待ちしています。また、本研究会は東京都立大学「多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材(がんプロフェッショナル)」養成プラン*および、東京都立大学大学院人間健康科学研究科放射線科学域医学物理士コースとの共催企画であり、本シンポジウムが専門医療人の人材育成の一助となることも期待しております。

【開催日】2022年1月8日(土)12:00 - 17:30

【場 所】東京都立大学荒川キャンパス 及び オンライン(Zoom)

【参加費】無料

【定 員】現地参加-100名程度、オンライン-200名(新型コロナの感染状況によりオンラインのみとなる場合があります)

【申 込】必要

- 締切:2021年12月28日(火)正午
- 申込フォーム:<https://forms.gle/euHXTQUjJ5ToaLVz8>
 - 完了後、確認メールが記入したメールアドレスに届きますので、届かない方は、伊良皆:iramina@kuhp.kyoto-u.ac.jpまでご連絡ください

【共 催】

- 応用物理学会放射線分科会医療放射線技術研究会
- 多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材(がんプロフェッショナル)」養成プラン* (東京都立大学大学院人間健康科学研究科量子イメージング技術者養成コース)
- 東京都立大学大学院人間健康科学研究科放射線科学域医学物理士コース

【備 考】

- 医学物理士認定機構の業績評価点の対象として出席証明書を発行 (認定番号:JBMP-2021-F-17, 認定コード:F1/F2)

【世話人】

- 眞正浄光(東京都立大学), 山口充孝(QST高崎研), 古場裕介(QST放医研), 高橋美和子(QST量医研), 伊良皆拓(京大病院)

*多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材(がんプロフェッショナル)」養成プラン連携大学

- 東京都立大学, 東京大学, 横浜市立大学, 東邦大学, 自治医科大学, 北里大学

【プログラム】

12:00-12:55	現地受付, Zoomオープン
12:55-13:00	開会の辞: 眞正 浄光(東京都立大学)
13:00-13:50	講演1「AMEDにおける医療機器開発に関する事業紹介」
	(講演40分, 質疑10分)
	講師: 宮本 真衣 様(日本医療研究開発機構) 座長: 古場裕介(QST放医研)
13:50-14:40	講演2「頭部専用ヘルメット型PET装置 ～コンセプト実証から実用化までの軌跡～」
	(講演40分, 質疑10分)
	講師: 赤松 剛 先生(量子科学技術研究開発機構) 座長: 高橋 美和子(QST量医研)
14:40-15:30	講演3「北海道大学における医療機器開発の事例紹介 ～SyncTraX, MIDSOFなどの開発について～」
	(講演40分, 質疑10分)
	講師: 石川 正純 先生(北海道大学) 座長: 古場 裕介(QST放医研)
15:30-15:40	休憩(10分)
15:40-16:30	講演4「放射線治療装置Vero4DRTについて」
	(講演40分, 質疑10分)
	講師: 中村 光宏 先生(京都大学大学院医学研究科) 座長: 伊良皆 拓(京都大学医学部附属病院)
16:30-17:20	講演5「実用CdTeイメージャーの開発」
	(講演40分, 質疑10分)
	講師: 青木 徹 先生(静岡大学) 座長: 山口 充孝(QST高崎研)
17:20-17:30	閉会の辞: 前畑 京介(帝京大学)